福岡医療短期大学アセスメントポリシー

常任役員会了承（H30.9.11 開催）

（目的）

福岡医療短期大学は学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針および入学者受入れの方針に基づき実施している教育について、教育課程編成・実施の改善、入学者受入れの改善を図り、併せて各方針の適切性、妥当性を評価するため、福岡医療短期大学アセスメントポリシー（以下「本ポリシー」という。）を策定する。

（構成）

本ポリシーは

1. 教育課程アセスメントポリシー
2. 授業改善アセスメントポリシー
3. 学修成果アセスメントポリシー

で構成する。

（アセスメントの対象）

各アセスメントポリシーはそれぞれ以下の事項に関して、具体的な評価指標とその実施方法について規定する。

1. 教育課程アセスメントポリシーは各学科カリキュラムの適切性並びに妥当性を対象とする。
2. 授業改善アセスメントポリシーは各授業科目の本学の理念、学位授与方針に対する適切性を対象とする。
3. 学修成果アセスメントは学位授与の方針に記された卒業時に獲得した各能力の達成度を対象とする。

（教育課程の評価指標）

教育課程の評価指標は

1. 学修成果アセスメント結果
2. 授業改善アセスメント結果

とする。

（授業改善の評価指標）

授業改善の評価指標は

1. 学修成果アセスメント結果
2. 授業評価アンケート
3. ポートフォリオ等

とする。

（学修成果の評価指標）

学修成果の評価指標は

1. 入学試験合否判定資料および入学試験で収集した学生資料（調査書・自己推薦書・高校推薦書・小論文・学科試験・面接資料等）
2. 授業に関する各種資料（授業評価アンケート・満足度調査・欠席率・学修時間数等）
3. 入学後に実施した成績評価資料（基礎学力試験・定期試験・追再試験・GPA・修得単位数・ポートフォリオ・卒業試験等）
4. その他の資料（課外活動・ボランティア活動・退学率・休学率・留年率・学位授与数・就職率・離職率等）

とする。

（学位授与の方針に示す各能力の評価）

1. 専門的な知識・理解については専門科目および卒業試験の成果によって評価する。
2. 思考力・判断力については卒業研究、フィールドワーク等の統合的な科目の成果によって評価する。
3. 態度・主体性については基礎実習、臨地実習の行動評価によって行う。
4. 技能、表現力については基礎実習、臨地実習の成果によって評価する。
5. 思考力・判断力、態度、主体性、技能、表現力については、教員（指導者）・学生間・自己評価による多段ルーブリックによって行う。

（達成すべき質的水準）

1. 専門的な知識・理解については、講義として実施される専門教科必修科目の GPA が 1.5 以上とする。
2. 専門的な技能・表現力については、実習・演習として実施される専門教科必修科目の多段ルーブリックにおいて上位 2 段の能力の獲得とする。
3. 思考力・判断力、態度・主体性、一般的な技能・表現力については、多段ルーブリックにおいて上位 3 段の能力の獲得とする。

（実施方法）

アセスメントに必要な資料の選択・収集・分析は自己点検・評価委員会で行う。

（公表）

調査結果は毎年度教授会に報告する。教授会は必要に応じて改善すべき項目を次年度以降の活動目標に反映させる。

（改善）

教授会の活動目標に従い、各委員会は改善のための計画を策定し、速やかに実施する。